

A 1 6 1		技術契約の実践	
講座レベル ★★★		技術契約の定義、法律用語、種類 技術契約において陥りやすい落とし穴と対処方法	
講師	八巻 隆博 (日本パテントデータサービス株) 部長、元 住友金属工業株 知的財産部長)		
日程	東京会場		
	5月14日(木)、2027年2月25日(木)		
	大阪会場		
	9月10日(木)		
時間	1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45		
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access/		
定員	東京会場: 24名 / 大阪会場: 14名 (先着順申し込み)		
受講料	22,000円(税込24,200円)		
対象	知的財産部門・法務部門・研究開発部門・技術管理部門・営業部門の担当者		
内容			
<p>企業間の取引の過程で生じる技術情報の取り扱いや発明等の権利帰属とその利用等を規定する技術契約は、自社の事業展開にも大きな影響を及ぼすこともあり、大変重要となります。</p> <p>本セミナーでは、技術契約の基本と企業間取引で実際に生じたトラブル事例に基づいた技術契約の落とし穴を解説し、技術契約における考え方とその勘所を学びます。</p> <p>知的財産部門、法務部門、研究開発部門、技術管理部門のほか、営業部門の方まで幅広くお勧めいたします。</p>			
プログラム			
1. 契約の基本		3. 知的財産に関連する技術契約の種類	
• 契約とは。法律との関係		• 秘密保持契約	
• 契約の成立		• 共同研究開発契約	
• 契約の構成		• 共同出願契約	
• 法律用語		• ライセンス契約	
2. 技術契約で規定すべき事項		• その他の契約	
• 技術対象の定義、情報の特定		4. 技術契約のトラブル事例とその対策	
• 実施に関する扱い		• トラブル事例の紹介とその対策例	
• 知的財産の扱い		• 質疑応答	
• 第三者権利の侵害回避、保証責任		5. まとめ	
• 経営支配の変更			

【お申込み】

弊社ホームページよりお申し込みください。

URL: https://www.jpds.co.jp/ip_seminar/schedule/

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。

セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。